

# 放射線治療科

## 最先端のがん治療を担う人材に

放射線治療を専門として独立した、新しい診療科です。放射線治療は手術療法、化学療法とともに、がん治療の3本柱の一つです。最先端の「低侵襲治療」として、需要はますます増加しています。当科では定位放射線治療や強度変調放射線治療(IMRT)など、痛みや副作用の少ない先進的な治療に取り組んでいます。すべてのがん種に関与でき、化学療法や緩和医療なども研修できます。

### 〈研修目標〉

どの専門分野に進もうとも、悪性疾患を対象とする限り放射線治療に関する基礎知識は必要です。放射線治療を少しでも勉強しておくことは、今後のみなさんにとって非常に有益です。治療の適応判断から治療計画の方法、治療後の経過などを総合的に理解できるよう研修を行います。



### 先輩の声

平成23年卒 朴 成哲

放射線治療科の主な業務はがんの根治治療や疼痛緩和などです。予後不良な悪性疾患の集学的治療において、放射線治療医が介入すべきところはたくさんあります。当科には取り組むことができる題材が豊富に存在し、若い先生でもそういった取り組みに参加できるのが当科の魅力の一つと考えています。是非、一緒に頑張りましょう。

### 1週間のスケジュール

Mon	症例検討会、外来(新患) Cancer Board (頭頸部がん)
Tue	症例検討会 外来(経過観察) 放射線治療計画
Wed	症例検討会、外来(新患) Cancer Board (肝胆臓、胸部、泌尿器疾患)
Thu	症例検討会 外来(経過観察) 放射線治療計画
Fri	症例検討会、外来(新患) RALS(婦人科がん)

当直業務はありません。

# 産科婦人科

## 私たちはいつも女性の幸せを考えています

産科婦人科領域(周産期分野、婦人科悪性腫瘍分野、不妊・生殖内分泌分野、女性ヘルスケア分野)における地域の基幹病院として一般的な診療だけでなく高度な医療を提供し、さらには高度な医療を担う世界レベルの基礎研究を推進しています。

### 〈研修目標〉

基本的な産婦人科診察法、検査法(超音波検査、細胞診、病理組織検査、骨盤部CT・MRIなど)、治療法(内科的治療及び外科的治療)を習得することができます。正常分娩はもちろん産科及び婦人科の救急患者の対応を学び、各種手術の助手を行いながら修練を積み重ねます。非侵襲的な検査法である超音波検査も実際に多くの症例に対し行うように指導しています。基本的にはマンツーマン指導を行っていますが、実際には症例の偏りなども考慮して、各グループのいろいろな先生と一緒に症例を担当します。

### 先輩の声



平成27年卒 藤村 大志

大学病院の研修では、多くの指導医のもと様々な疾患を豊富に経験することができ、カンファレンスや回診も盛り沢山で、市中病院とは一味違う研修を行うことができます。また、研修初期から執刀症例も豊富で、大変勉強になります。時に厳しく、しかし楽しく充実した研修生活を送ることができます!

### 1週間のスケジュール

Mon	手術
Tue	外来 回診カンファレンス
Wed	手術
Thu	外来 手術
Fri	外来 カンファレンス

当直は週1回程度、指導医と共にいきます。

# 麻酔科蘇生科 (麻酔科蘇生科、ペインクリニック)

## 基本的な手技が学べる麻酔科研修

年間4500例の麻酔管理症例を通じて、気管挿管、静脈ルート確保、動脈採血、腰椎穿刺、中心静脈ルート確保など医師として身につけておきたい手技を、指導医の指導のもと濃密に修練することができます。もちろん大学病院では充実したシミュレーター設備を駆使して事前に指導します。また麻酔管理は、全身状態の把握、循環・呼吸管理、注射薬への精通につながり、全身管理の基礎を修得できると思います。

### 〈研修目標〉

麻酔の実際理解、患者の全身評価と術中管理(麻酔管理、呼吸・循環管理、注射薬の投与)と術後管理(手術侵襲に対する全身制御や疼痛管理)、そして基本的手技の習得です。また、危機管理能力の習得を目指します。

### 先輩の声



平成24年卒 川並 俊介

大学病院は先輩医師が多いので、色々な手技や麻酔管理のコツを教えてもらう機会が多いです。市中病院では行っていない最先端手術の麻酔管理も経験できます。また病院実習で回ってきた学生のレポート指導を行うので自分自身の勉強にもなります。定期的に学生との懇親会もあるので楽しいです。

### 1週間のスケジュール

Mon	手術麻酔
Tue	手術麻酔
Wed	手術麻酔
Thu	手術麻酔
Fri	手術麻酔

2週間に1回程度、指導医と共に集中治療室の当直業務があります。